

「おもしろ読書事典」活用事例 応募フォーム

1 学校についての情報

①学校名	瀬戸内市立美和小学校	②電話番号	0869-26-2051
------	------------	-------	--------------

2 取組状況

取組時期、期間等	平成26年10月28日(火)～12月5日(金)
対象範囲	1. 学級 2. 学年 ③ 学校全体 4. その他(具体的に)
教育課程上の位置付け	1. 教科() 2. 学級活動 3. 児童会活動 4. 学校行事 ⑤. その他(具体的に 図書館行事)

3 取組の具体

① 取組の内容について

- ・『おもしろ読書事典 小学生版』に掲載されているクイズの中から、低・中・高学年向けのクイズを10問ずつ出しました。
- ・クイズの期間中、図書館に、クイズに使っている本のコーナーを設置しました。低・中・高学年用向けの本に、それぞれ違う色のしおりをはさみ、どの学年の本か、分かりやすいようにしました。
- ・クイズに正解した数によって、「プラス1券」(本をもう1冊借りられる券)や「しおり」などをプレゼントしました。
- ・参加児童は21人でした。(全校児童54人)

② 子どもたちの反応について

- ・クイズの用紙を配布した週には、休み時間に、クイズの本のコーナーに集まって、クイズにチャレンジしている児童の姿が見られました。
- ・「クイズの期間は今週の金曜日までです」というお知らせをすると、慌てて、ポストに用紙を入れに来る児童もいました。
- ・高学年は、休み時間に、自分から積極的にクイズにチャレンジすることは難しかったように思います。

③ この取組の反省

- ・「おもしろ読書事典 小学生版」を活用し、「岡山県の小学生が作ったクイズに、1問でも2問でもチャレンジしてみよう！」というクイズの取組ができて良かったです。
- ・クイズの期間が、学習発表会やなわとび運動の時期と重なり、参加者が全校の半数以下だったことを残念に思っています。クイズの期間をもっと短く、クイズの問題を5問程度にして、児童が短期間に集中して取り組めるような工夫が必要だったのではと反省しています。

↓ 「おもしろ読書事典クイズ」の本のコーナー

